



雪学習 指導案 [外国語]

雪学習とは、「雪」を楽しんだり（親雪）、「雪」を克服したりする活動を通じて、冬の暮らしに関心を持ち、除雪に対する意識が浸透することを目指した学習です。

実施校 札幌市立八軒西小学校

実施学級 6年1組

実施日 2023年1月31日（火）6校時

指導者 西森 美紀

科目/単元名 外国語 CYS2 世界と自分のつながりを発見して紹介しよう

～絵本「ゆき ゆき ゆき」夢の中の1ページを作ろう～ [5時間扱い]

単元のねらい

- ・雪が降る国やそこでの暮らし、子どもの遊びなどにについて理解を深める。
- ・“Snow Snow Snow”に出てくる英語を活用して絵本最後の1ページを創作し、好きな雪遊びや、挑戦してみたいことについて友達と伝え合うことができる。

教材化のポイント

【視点1】教科書「New Horizon Elementary 6 Check Your Steps2」としての取組

6年生の後半に行う授業として、既習を生かした英語表現を活用する場を設定した。Unit5では動物、Unit6では食べ物を通して日本と世界のつながりを学習した子どもたち。本単元では「雪」を通して世界とのつながりを考えていく。

【視点2】英語絵本の活用と創作活動

本単元では、“Snow Snow Snow”という英語の絵本を活用する。この絵本を参考に、雪に関する英語表現にふれ、既習と合わせて自分の好きな雪遊びや挑戦してみたいことについて友達と伝え合う活動をする。

教師のかかわりのポイント




1. 世界と自分のつながりを知るために

日本以外にも雪の降る国は世界にたくさんある。そこでの暮らしはどういったものなのだろう？工夫は？楽しみや、子どもの遊びはどういったものなのだろう？英語では何て言うのかな・・・？「雪」を通して世界と自分（雪国札幌）とのつながりに気付かせ、世界を身近に感じてほしいと考える。

2. 雪を楽しむ子どもを育むために

学級担任にお願いして、2時間目に本学習の一環としてクラスで雪遊びを行うこととした。冬休み中にスキー教室に通うなど各自が雪と触れ合ってきたであろうことは予想されるが、学級の友達全員と雪遊びをする機会というのは6年生にとって貴重な時間と考える。実際の楽しい雪遊び体験と、“Snow Snow Snow”に出てくる英語が結びついたとき、雪と触れ合うことのよさが実感となって生きた学習になると考える。雪遊びは楽しいという絵本の内容を受け、冬に関する英語表現をさらに広げられるようにしたい。

学習活動計画 [5時間扱い 本時 (5/5)]

時	主な学習活動	学習のポイント
1	<ul style="list-style-type: none"> 冬休みの出来事を交流する。【NL2019年10月号・スライド活用】 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0ff;">I went to a ski resort.</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0ff;">I ate rice cakes.</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0ff;">I enjoyed playing games.</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0ff;">I shoveled snow.</div> </div> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> 世界で「雪」の降る国について知る。【NL2020年10月号】 英語絵本“Snow Snow Snow”を読み聞かせを聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>“Snow Snow Snow”のお話があった。 英語絵本「ゆき ゆき ゆき」夢の中の1ページを作って 自分の好きな雪遊びや挑戦してみたいことを伝え合おう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○読み聞かせ動画を視聴 ○すでに発行されたNLを活用し、雪国に住むよさが感じられるようにする。 ○世界の雪国を紹介することで、雪を通した自分と世界のつながりが感じられるようにする。
2	<ul style="list-style-type: none"> 実際にグラウンドで雪遊びをしながら絵本の最後を考えてみる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>どんな英語がつかえるかな。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0ff;">Let's make a Snowman!</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0ff;">Let's play snowball fight.</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0ff;">It's cold. It's fun.</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0ff;">I like snow candles.</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0ff;">We enjoy skiing.</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0ff;">We can skate.</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> 絵本の最後に自分が登場することをイメージして雪遊び撮影会をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○読み聞かせ動画を視聴 ○児童に、してみたい遊びを聞いたり、NL2021年1月号を参考に遊びを提案したりする。 ○雪遊びの様子を写真に残しておき、登場人物として絵本に登場できるようにする。
3 4	<ul style="list-style-type: none"> 絵本最後の1ページを創作する。 <p>絵本最後の1行を音読</p> <p>“We dream all night of snow snow snow...” (夜の夢も ゆき ゆき ゆき・・・)</p> <ul style="list-style-type: none"> 夢の中の出来事として、自分を入れてお話をつくる。(下線部分) <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px; background-color: #e0f0ff;"> <p>In the dream, new friend 【自分の名前】 came to the town. Shiro and 【自分の名前】 made a very big Kamakura. It was fun.</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○読み聞かせ動画を視聴 ○絵本に登場する登場人物と自分(イラスト又は写真)、英文を書くようにする。 ○児童自身が絵本の中でどんな雪遊びをしたいのかをイメージする。
5 本時	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>創作した最後の1ページを伝え合おう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ALTの先生の音読を聞く。 自分で作ったページの音読練習をする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0ff; text-align: center;">抑揚をつけて 楽しそうに読もう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0ff; text-align: center;">絵を指さしながら ゆっくり読もう。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0ff; text-align: center;">ジェスチャーを使って伝 えよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0ff; text-align: center;">ALTの先生にも喜んで もらいたいな。</div> </div> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> クラス全体とALTの先生、3人1組になって紹介し合おう。 感動(心が大きく動いた)友達の作品に〇〇賞をあげよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○読み聞かせをイメージした小グループ内交流を繰り返すことで、音読の仕方を工夫していく。 ○感動(心が大きく動く)するお話を作った友達に自分で考えた名前の賞を贈り合う。


本時の目標と学習活動

●本時の目標

自分が創作した英語絵本「ゆき ゆき ゆき」の最後の1ページを表現の仕方に工夫して音読し、友達と楽しく伝え合う。

【思考・判断・表現】

●本時の展開（5/5）

主な学習活動	教師の関わり
<p>■ Greeting and Today's Teacher Talk.</p> <p>■ Today's Goal.</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">創作した最後の1ページを伝え合おう。</p> <p>■ RIKIYA 先生(ALT)の英語絵本「ゆき ゆき ゆき」音読を聞く。 ■ 教師が創作した最後の1ページの音読を聞く。 ■ RIKIYA 先生(ALT)が創作した最後の1ページの音読を聞く。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自分の創作した最後の1ページの音読はどうするとよいのかな。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #e0f0ff; width: 150px; text-align: center;"> 抑揚をつけて 楽しそうに読もう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 250px;"> In the dream, new friend 【自分の名前】 came to the town. <u>Shiro, Koro and 【自分の名前】</u> enjoyed sledding. </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #e0f0ff; width: 150px; text-align: center;"> ジェスチャーを使って 伝えよう。 </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #e0f0ff; text-align: center; margin: 10px 0;"> 絵を指さしながら ゆっくり読もう。 </div> <p>■ 1人音読タイム</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #e0f0ff; text-align: center; margin: 10px 0;">ALTの先生に褒めてもらえるように英語らしい発音を意識しよう。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">グループで読み聞かせしよう。</p> <p>■ 3人1組×4回の音読交流会を行う。 ■ 1人の音読が終わるたびに聞き手は感想を伝える。 ■ 4回の交流が終わった時点で感動（心が大きく動いた）作品に対しての「〇〇賞」を決める。 ■ 受賞が多かった児童は全体で発表する。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">音読の仕方を工夫して、みんなと楽しく交流することができた。</p>	<p>○ 絵本の英語表現については、内容が理解できるよう、音声で十分に慣れ親しんでおく。</p> <p>○ 作り手によって最後のページが大きく違う面白さを伝える。</p> <p>○ 「スィー」「Woosh」等の擬態語については声の大きさ、抑揚に留意しながら読む。</p> <p>○ お話の世界で自分はどんな雪遊びをしたいのかを自由に表現するよう伝える。</p> <p>○ 音読には読み手の個性や表現力が大切であると気付くようにする。</p> <p>○ 友達とのグループ交流を繰り返すことで何度も同じ表現に親しめるようにする。</p> <p>○ 友達の声の読み方のよいところに気付き、自分の音読に取り入れるよう促す。</p> <p>○ どこに感動したのかを伝え合い、楽しさを全体で共有する。</p>
<p>■ 単元のふりかえり</p>	

本時で活用する資料と本時の様子

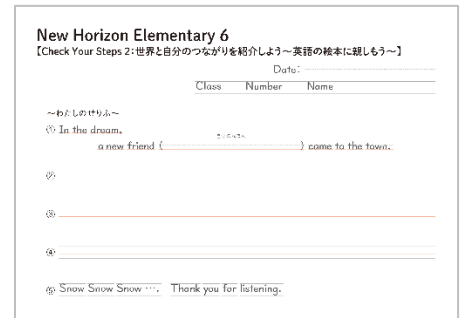
○活用した資料



バイリンガル絵本「ゆき ゆき ゆき」
 (ほんま まゆみ (著)、みち いずみ (イラスト),
 マラ・ベネマン (翻訳), ほんま こうすけ (翻訳))



バイリンガル絵本「ゆき ゆき ゆき」
 英語版読み聞かせ動画
 ※BGM あり: <https://youtu.be/SxwtFjCCn2E>
 ※BGM なし: <https://youtu.be/WaGhc4s9GRY>



ワークシート [A4 判]



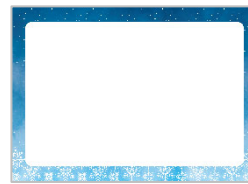
台紙① [A3 判]



台紙② [A3 判]



台紙③ [A3 判]

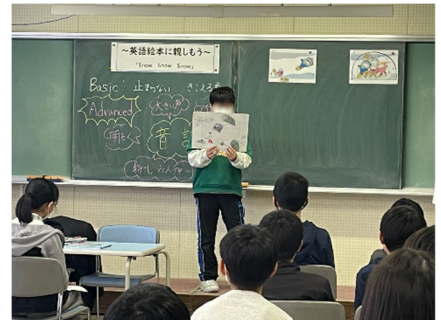


台紙④ [A3 判]



台紙⑤ [A3 判]

●本時の様子



[本時の板書]

